歴史１　第３章　中世の日本　武家政治の始まりと変化①

組　　番　　名前

◎　中世の人物について，以下の問いに答えましょう。

（１）①～⑥の人物とかかわりのある説明として適切なものを，次のア～カからそれぞれ選び，その符号を答えましょう。

①源頼朝　　②足利義政　　③北条時宗

④平清盛　　⑤足利義満　　⑥足利尊氏

ア　外国から軍勢が攻めてきた時，幕府の中心の立場として武士をまとめた。

イ　平氏を滅ぼし鎌倉に幕府を開き，武家政治を始めた。

ウ　南北２つに分かれていた朝廷を１つにまとめ，将軍として大きな力をふるった。

エ　将軍として，後つぎ争いや大名同士の対立を解決できず，十年も続く戦乱を引き起こした。

オ　新田義貞らと共に鎌倉幕府を倒した後，京都に幕府を開いた。

カ　源氏と争い，勝利して，朝廷の高い位について政治を行った。

（２）上の①～⑥の人物を，活躍した時代の古い順に並べ，符号で答えましょう。

解答欄

（１）	①源頼朝（　　）　②足利義政（　　）　③北条時宗（　　） ④平清盛（　　）　⑤足利義満（　　）　⑥足利尊氏（　　）
（２）	（　　）→（　　）→（　　）→（　　）→（　　）→（　　）

歴史１　第３章　中世の日本　武家政治の始まりと変化①　＜解答＞

【解　答】

（１）　①　イ　　②　エ　　③　ア

④　カ　　⑤　ウ　　⑥　オ

（２）　④ → ① → ③ → ⑥ → ⑤ → ②

【解　説】

○　鎌倉・室町時代に政治の中心を担った代表的な人物を問題にしています。基本的な事項です。

歴史１　第３章　中世の日本　武家政治の始まりと変化②

組　　番　　名前

◎　鎌倉時代の政治や社会の様子について，下のＡ～Ｃの文をもとに，以下の問いに答えましょう。

Ａ　鎌倉時代，将軍と武士たちは「（　①　）と（　②　）」の関係で結ばれていた。将軍が武士の領地を保護したり，新たに領地を授けたりすることを（　①　）といい，武士が将軍に忠誠をちかうことを（　②　）という。

Ｂ　源氏の将軍は３代で絶え，幕府の政治の中心は，代々（　③　）の地位についていた（　④　）氏に引き継がれた。

Ｃ　１３世紀後半，アジアを広く支配した（　⑤　）が，２度にわたり，日本に攻めてきた。武士はこれを迎え撃って戦った。この戦いを（　⑥　）という。

（１）①～⑥にあてはまる言葉を答えましょう。

（２）Ｂの文のとき，朝廷が幕府を倒そうとしました。しかし，武士たちの多くは幕府のために朝廷軍と戦いました。それは，ある人（女性）が武士たちの団結をうったえたことによることが大きいとされています。武士たちに団結をうったえた人物の名前を答えましょう。また，その人物はどのような立場だったのか，説明した文として適切なものを，次のア～エから１つ選び，その符号を答えましょう。

ア　初代将軍（源　頼朝）の妻　　イ　初代将軍（源　頼朝）の娘

ウ　二代将軍（源　頼家）の妻　　エ　三代将軍（源　実朝）の妻

（３）Ｃの内容について説明した文として適切でないものを，次のア～エから１つ選び，その符号を答えましょう。　【思・判・表】

ア　フビライ＝ハンは日本を従えようとしたが，北条時宗が拒否したため，攻めてきた。

イ　幕府は一度目に侵攻された後，御家人に石垣（防塁）を築かせた。

ウ　攻めてきた軍は暴風雨や御家人の抵抗等により撤退した。

エ　御家人は戦いに貢献し，十分な土地をもらうことができた。

解答欄

(1)	①		②			③	
	④		⑤			⑥	
(2)	人物			立場		(3)	

歴史１　第３章　中世の日本　武家政治の始まりと変化②　＜解答＞

【解　答】

（１）　①御恩　②奉公　③執権　④北条　⑤元　⑥元寇

（２）　人物の名前：北条政子

どのような立場：　ア

（３）　エ

【解　説】

○　鎌倉時代，土地との結びつきを中心とした政治が行われていたことを確認する問題です。

・将軍と武士たちの間の「御恩と奉公」の関係が，鎌倉時代の鍵になります。

・（３）について，元軍は集団戦法や火薬を使った武器「てつはう」で幕府軍を苦しめました。御家人は戦いに貢献し，元軍を撤退させることができましたが，幕府は十分な土地を与えることができませんでした。

歴史１ 第３章 中世の日本 武家政治の始まりと変化③

組　番　名前

◎ 鎌倉時代の武士はどのような考え方をし，どのような日常生活を送ったかについて，領地との関係をもとに説明した文として適切でないものを，次のア～エから１つ選び，その符号を答えましょう。【思・判・表】

ア 名誉を重んじ，「一所懸命」という言葉で表されるように，領地を確保し，守るために命もかけた。

イ 一族が団結し，弓矢や馬などの武芸の修練を行った。

ウ 館には塀や堀，やぐらなどを備えるなど，戦に備えた生活をした。

エ 公領や荘園の地頭となった武士は，農民の経済的な負担を減らした。

解答欄

[　　]

歴史１　第３章　中世の日本　武家政治の始まりと変化③　＜解答＞

【解　答】

エ

【解　説】

○鎌倉時代の武士の生活について，言葉で説明する問題です。

・農民は荘園領主と地頭との二重の支配に苦しみました。地頭の中には農民に訴えられる者もいました。

・「一所懸命」とは，「１つの所（土地）に命をかける」という意味の言葉で，当時の武士の考え方を端的に表しています。武士は，自分の領地を守るために，日常から武芸を鍛錬し，戦いに備えていました。将軍との間の「御恩と奉公」の関係における「御恩」の中心は，「武士がその土地を所有することを将軍が正式に認める」ことでした。

歴史１　第３章　中世の日本　武家政治の始まりと変化④

組　　番　　名前

◎　鎌倉時代について，以下の問いに答えましょう。

（1）鎌倉時代の文化や宗教に関して，　問いに答えましょう。
次の文の（　　）のＡ～Ｆにあてはまる言葉を答えましょう。

> 鎌倉時代になると，平安時代の公家（貴族）を中心とした文化に加え，武士の力強さが表れた新しい文化が生まれ，武士の活躍を描いた軍記物の（　Ａ　）は，琵琶法師によって広まった。彫刻作品では，（　Ｂ　）や快慶らによって東大寺に（　Ｃ　）像が制作された。また，鴨長明が書いた随筆の（　Ｄ　）や後鳥羽上皇の命により藤原定家らが中心になって編集した（　Ｅ　），兼好法師が書いた随筆の（　Ｆ　）などの文学作品がつくられた。

（2）鎌倉時代におこった新しい仏教について，問いに答えましょう。
①下の表のア～オについて，それぞれの宗派を広めた僧の名前を答えましょう。
（アの人物は曹洞宗，イの人物は臨済宗を広めました。）
カ～ケについては，　選択肢のａ～ｄからそれぞれ選び，その符号を答えましょう。

宗　派	僧の名前	教え
禅　宗	ア　と　イ	カ
浄土宗	ウ	キ
日蓮宗	エ	ク
浄土真宗	オ	ケ

ａ　南無阿弥陀仏と念仏を唱えれば，だれでも極楽浄土に生まれ変われる。
ｂ　座禅によってさとりが開かれる。
ｃ　南無妙法蓮華経を唱えれば，人も国家も救われる。
ｄ　ａの教えを一歩進めたもの。自分の罪を自覚して改めようとする人こそ救われる。

②　これらの宗派のうち，現在の千葉県の地域の出身者によって始められたものを選び，答えましょう。
③　これらの宗派の中で，特に武士の気風に合ったのはどの教えか，答えましょう。

解答欄

<table>
<tr><td rowspan="2">（1）</td><td>A</td><td></td><td>B</td><td></td><td>C</td><td></td></tr>
<tr><td>D</td><td></td><td>E</td><td></td><td>F</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="3">（2）
①</td><td>ア</td><td></td><td>イ</td><td></td><td>ウ</td><td></td></tr>
<tr><td>エ</td><td></td><td>オ</td><td></td><td>カ</td><td></td></tr>
<tr><td>キ</td><td></td><td>ク</td><td></td><td>ケ</td><td></td></tr>
<tr><td>②</td><td colspan="6">現在の千葉県の地域の出身者によって始められた宗派名
（　　宗）</td></tr>
<tr><td>③</td><td colspan="6">武士の気風にあった教えの宗派名　　（　　宗　）</td></tr>
</table>

歴史１　第３章　中世の日本　武家政治の始まりと変化④　＜解答＞

【解　答】

（１）A　平家物語　　B　運慶　　C　金剛力士

　　D　方丈記　　E　新古今和歌集　　F　徒然草

（２）①

禅　宗	ア　道元　　イ　栄西	カ　b
浄土宗	ウ　法然	キ　a
日蓮宗	エ　日蓮	ク　c
浄土真宗	オ　親鸞	ケ　d

②日蓮宗

③禅宗

【解　説】

○　鎌倉・室町時代の宗教や文化について，特色や担った人物について確認する問題です。

・文化の担い手や現代とのつながりを理解することが大切です。

・鎌倉新仏教は，武士や庶民に広く信仰され，人々の生活にも根付きました。庶民にとっては「わかりやすい」「実践しやすい」ことが大きな魅力でした。

歴史１ 第３章 中世の日本 武家政治の始まりと変化⑤

組　番　名前

◎ 年表をもとに，以下の問いに答えましょう。

（１） 表中のＡについて，平氏がほろんだ戦いの名前を答えましょう。また，それに至る戦いで中心的な働きをした源氏の武将の名前を答えましょう。

（２） 表中のＢについて，そのすぐ後に幕府を倒す命令を出した人物の名前と朝廷軍と幕府軍の戦いの名前を答えましょう。

	・平氏がほろびる・・・・・Ａ
鎌倉	・鎌倉幕府が開かれる
	・源氏が絶える・・・・・・Ｂ
	・外国と戦う
	・鎌倉幕府がほろびる・・・Ｃ
室町	・京都に幕府が開かれる・・Ｄ
	・朝廷が１つになる・・・・Ｅ
	・大きな乱が起きる・・・・Ｆ
	・室町幕府がほろびる・・・Ｇ

（３）表中のＣについて，幕府を倒す命令を出した人の名前を答えましょう。また，幕府を倒した後に，その人が中心になって行った政治を何というか答えましょう。

（４）表中のＤとＥについて，この間，朝廷が２つに分かれていました。その時代を何というか答えましょう。

（５）表中のＦとＧについて，次の文の（　）の①～④にあてはまる言葉を答えましょう。

> Ｆを「（ ① ）の乱」という。この乱以降，戦乱は全国に広がった。
> この時期を（ ② ）時代という。この時期，実力のある者が，上の身分の者を倒して勢力を持つ（ ③ ）の風潮が広がった。各地方で，実力で国の支配者になったものを（ ④ ）大名という。

解答欄

（１）	戦いの名前（　　の戦い） 武将の名前（　　）			
（２）	命令を出した人（　　） 戦いの名前（　　）			
（３）	人物の名前（　　） 行った政治（　　）			
（４）	（　　）時代			
（５）	①	の乱	②	時代
	③		④	大名

歴史１　第３章　中世の日本　武家政治の始まりと変化⑤　＜解答＞

【解　答】

（１）【戦いの名前】壇ノ浦（の戦い）【武将の名前】源 義 経

（２）【命令を出した人】後鳥羽上皇　【戦いの名前】承 久 の乱

（３）【人物の名前】後醍醐天皇　【行った政治】建武の新政

（４）南北朝（時代）

（５）①応仁（の乱）　②戦国（時代）　③下克上（下剋上）

④戦国（大名）

【解　説】

○　鎌倉時代，室町時代の主な出来事について関係する人物や場所を確認する問題です。

・年表や地図をもとに，時代の流れのポイントを押さえながら整理して理解できるとよいでしょう。

・政治のしくみなどについては，鎌倉幕府と室町幕府の比較や，鎌倉幕府から室町幕府へのつながりから考えると，それぞれの時代の特徴や，時代の流れがわかりやすくなります。

・室町幕府の「室町」というのは，３代将軍が京都の室町という場所に「室町殿」「花の御所」と言われた公邸を建てて政治を行ったことに由来します。また，「幕府」は「将軍の居所」を指す言葉で，江戸時代中期以降に「武家政権」を指す意味になってきました。ですから，「鎌倉幕府」「室町幕府」「江戸幕府」という呼び方は，それ以降の言葉ということになります。

歴史１ 第３章 中世の日本 武家政治の始まりと変化⑥

組　番　名前

◎ 各時代の特色について，以下の問いに答えましょう。

（1）鎌倉時代，室町時代の特色について，（　　）のア～カにあてはまる言葉を答えましょう。

A 鎌倉時代は，江戸時代まで続いたが武士が支配した時代のはじまりである。中国の（　ア　）の大軍が二度にわたって日本に船で攻めてきたが，１度目は元軍の内紛や暴風雨で，２度目は御家人の活躍や海岸に築かれた（　イ　）の防備もあり，上陸できないまま，再度の暴風雨で失敗した。

B 室町時代は，京都の室町に幕府が置かれたので，そう呼ばれている。当時の中国は（　ウ　）という王朝であった。当時の貿易は倭寇の活動が活発だったため，（　エ　）という合い札を用いて行われたことから，（　エ　）貿易という。そのころの代表的な建物は，足利義満の立てた（　オ　）や足利義政が立てた（　カ　）がある。

（2）次の文は平安時代までと鎌倉時代以降を比較して，権力の中心について述べたものです。文中の（　X　），（　Y　）にあてはまる言葉の組み合わせとして適切なものを，次のア～エから１つ選び，その符号を答えましょう。

> 平安時代までは，（　X　）が権力をにぎり国を動かし，（　Y　）はその家来であった。しかし，各地の反乱の鎮圧や平氏の政治や源平の争いを経て，（　Y　）が自分の力を自覚し，鎌倉時代以降は国を動かす権力の中心となった。

ア　X：天皇や貴族　Y：武士　　イ　X：天皇や貴族　Y：農民
ウ　X：武士　Y：農民　　エ　X：農民　Y：武士

解答欄

(1)	ア		イ		ウ	
	エ		オ		カ	
(2)						

歴史１　第３章　中世の日本　武家政治の始まりと変化⑥　＜解答＞

【解　答】

（１）A　ア　元　　イ　石垣（防塁・石塁）

　　B　ウ　明　　エ　勘合　　オ　金閣　　カ　銀閣

（２）ア

【解　説】

○（１）②オ・カについて，鹿苑寺の金閣と慈照寺の銀閣はそれぞれ「金閣寺」「銀閣寺」と呼ばれることもありますが，正式名称ではありません。

○（２）は，平安時代までと比べ，鎌倉時代の特色について説明する問題です。

・平安時代までは，天皇や貴族が権力をにぎり国を動かし，武士はその家来でした。しかし，各地の反乱の鎮圧や平氏の政治や源平の争いを経て，武士が自分の力を自覚し，鎌倉時代以降は国を動かす権力の中心となりました。

・時代の大きな変化について読み取り，まとめることなどが大切です。

ポイントは，平安時代までは誰が権力を持っていたか，それが鎌倉時代になってどう変わったかについて，「天皇や貴族」と「武士」との関係から整理できているかです。

・「武士」はもともと「侍う（さぶらう）者」という位置付けとされています。「身分の高い人に従う」存在で，当時の高い身分である天皇や貴族の「家来」のような立場でした。それが，保元の乱や平治の乱などを経て平氏が高位につくようになって，少しずつ関係が変わってきました。

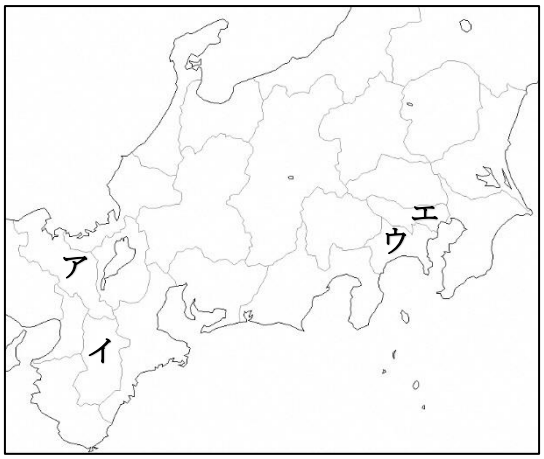
歴史１　第３章　中世の日本　武家政治の始まりと変化⑦

組　　番　　名前

◎　鎌倉幕府と室町幕府について，以下の問いに答えましょう。

（１）鎌倉幕府と室町幕府が置かれた都道府県の位置を右の地図中のア～エから１つ選び，その符号を答えましょう。

（２）鎌倉幕府と室町幕府に関して，下の２つの文をもとに，問いに答えましょう。



「Craft　Map　日本・世界の白地図」

【A】将軍の補佐役として（　ア　）が置かれ，それには有力な（　イ　）大名がついた。地方でも（　イ　）大名の力が大きくなった。

【B】将軍の補佐役として（　ウ　）が置かれ，それには代々（　エ　）氏がついた。政治機関として，政所，侍所，問注所が置かれた。地方には，国ごとに（　オ　）が，荘園や公領ごとに（　カ　）が置かれた。

①室町幕府について述べているのはA，Bのどちらか，答えましょう。

②文中のア～カにあてはまる言葉を答えましょう。

③Bの文中の「政所」「侍所」「問注所」のうち，訴訟や裁判をつかさどる機関はどれか，答えましょう。

④鎌倉時代の１２３２年に定められた，武士のための法律の名前を答えましょう。

解答欄

（１）	鎌倉幕府		室町幕府		（２）①			
（２）②	ア		イ		ウ			
	エ		オ		カ			
（２）③			（２）④					

歴史１　第３章　中世の日本　武家政治の始まりと変化⑦　＜解答＞

【解　答】

（１）　鎌倉幕府　ウ　　室町幕府　ア

（２）①　A

②　ア 管領　イ 守護

ウ 執権　エ 北条

オ 守護　カ 地頭

③　問注所

④　御成敗式目（貞永式目）

【解　説】

○鎌倉幕府と室町幕府のしくみについて，整理しておきましょう。

歴史１　第３章　中世の日本　**武家政治の始まりと変化**⑧

組　　番　　名前

◎　次にあげる３人の人物に関して，以下の問いに答えましょう。

足利義政	雪　舟	足利義満

（1）この３人が活躍した時代を答えましょう。

（2）この３人についての事柄を，下のア～エからそれぞれ選び，その符号を答えましょう。

ア　水墨画（墨絵）の第一人者。後の時代の絵師に大きな影響を与えた。

イ　銀閣を建てた。

ウ　蝦夷地（北海道）に先住民族として住んでいた。

エ　金閣を建てた。

（3）　下の文を読んで（　ア　）と（　イ　）にあてはまる名前を答えましょう。

武士が京都で生活するようになると，それまでの貴族や僧の文化に，武士らしさをとりいれた新しい文化が生まれ，地方にも広がりました。今の栃木県にある日本最古の学校を(　ア　)といいます。この学校は室町時代に武士たちが(　イ　学)を学んだ学校です。　　※(　イ　学)は，中国から伝わった学問です。

解答欄

（1）	(　　時代　)
（2）	足利義政（　　）　雪　舟（　　）　足利義満（　　）
（3）	ア（　　）　イ（　　学)

歴史１　第３章　中世の日本　武家政治の始まりと変化⑧　＜解答＞

【解　答】

（１）室町（時代）

（２）足利義政　イ　　雪舟　ア　　足利義満　エ

（３）ア　足利学校　　イ　儒（学）

【解　説】

○　室町時代の文化を担った人物や文化遺産を確認する問題です。

基本的な事項です。

・ウの内容は，アイヌ民族についてです。

歴史１　第３章　中世の日本　**武家政治の始まりと変化**⑨

組　　番　　名前＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

◎　次の文化にかかわる事柄に関して，以下の問いに答えましょう。

生け花　　茶の湯

（１）これらが行われるようになった時代を答えましょう。

（２）これらと同じ時代，右の絵のような面をつけて舞う芸能が愛好されました。この芸能の名前を答えましょう。

（３）右の絵の東山慈照寺（銀閣寺）がつくられたのも同じ時代です。東山慈照寺（銀閣寺）の建築洋式に使われている書院造は，現代の和室のもとになっています。現代につながる特徴として<u>適切でないもの</u>を，次のア～エから１つ選び，その符号を答えましょう。

【思・判・表】

ア　屏風やすだれがある。　　イ　床の間がある。

ウ　障子や襖がある。　　エ　畳が敷かれている。

解答欄

（１）	（　　時代　）	（２）	芸能の名前（　　）
（３）			

歴史１　第３章　中世の日本　武家政治の始まりと変化⑨　＜解答＞

【解　答】

（１）室町（時代）

（２）能

（３）ア

【解　説】

○室町時代の文化について現代との結びつきを確認する問題です。

・（３）アについて，屏風やすだれは寝殿造の特徴です。

書院造の特徴は他に，違い棚，床柱，付け書院などがあります。

歴史１ 第３章 中世の日本 武家政治の始まりと変化⑩

組　番　名前

◎ 室町時代の産業や文化，人々の生活について，次の文をもとに，以下の問いに答えましょう。

> 室町時代の文化は，大きく２つの時期において栄えた。まず，金閣に代表される（ ① ）文化である。公家の文化と武家の文化の融合が特色である。
> 次に，銀閣に代表される（ ② ）文化である。簡素で気品ある文化といえる。
> 「 A 」という言葉で代表される。また，室町時代には民衆の地位が向上し，文化を楽しむようになった。

（1）上の文の（　）の①，②にあてはまる言葉を答えましょう。

（2）文中の「 A 」にあてはまる言葉を，次のａ～ｄから１つ選び，その符号を答えましょう。

> a「豪華・けんらん」　b「しゃれ・粋」
> c「わび・さび」　d「派手・華やか」

（3）室町時代につくられた，農村の自治的な組織の名前を答えましょう。

（4）室町時代には，大工や鍛冶，織物など様々な手工業や芸能などにたずさわる人々があらわれました。これらの「専門職」を持つ人々をなんと言いますか。漢字２文字で答えましょう。

（5）室町時代に，商人や手工業者たちが同業者でつくった団体の名前を答えましょう。また，この団体に認められた権利を説明した文として適切なものを，次のア～エから１つ選び，その符号を答えましょう。

ア　年貢を取り立てる権利　　イ　営業を独占する権利
ウ　犯罪を取りしまる権利　　エ　土地を支配する権利

解答欄

(1)	①		②		(2)		(3)	
(4)		(5)	団体の名前（　　） 権利（　　）					

歴史１　第３章　中世の日本　武家政治の始まりと変化⑩　＜解答＞

【解　答】

（１）①　北山（文化）　　②　東山（文化）

（２）ｃ

（３）惣（惣村）

（４）職人

（５）団体の名前：座　　記号：‥イ

【解　説】

○　室町時代の産業や文化，人々の生活についての問題です。

・（３）は，室町時代の庶民の生活に関する問題です。

この時代，諸産業が発展し，庶民の生活も向上しました。都市では職人層や商業発展が見られ，農村でも自治的な組織がつくられてきました。生活の中で楽しみを見出し，庶民文化もおこってきました。庶民の力も高まってきて，一揆などにより支配者に対抗することも行われるようになってきました。

・（５）について，地方の武士は国司が支配する公領の管理者として，年貢を取り立てや犯罪の取りしまりを任されました。また，武士は農民から集めた年貢を納めることで，土地を支配する権利を認められました。

歴史１　第３章　中世の日本　武家政治の始まりと変化⑪

組　　番　　名前

◎　鎌倉幕府と室町幕府がそれぞれ幕府を置いた場所について，なぜその場所に置いたのか，その理由を朝廷との関係から説明した文として適切なものを，次のア～ウからそれぞれ選び，その符号を答えましょう。　【思・判・表】

ア　京都の朝廷からの影響をあまり受けずに，当時の交通の要所で経済的にも発展が期待できる場所に幕府を置いた。

イ　京都の朝廷からの影響をあまり受けずに，自分の強い勢力下で武士中心の政治を行える場所に幕府を置いた。

ウ　幕府の権威を高めるために京都の朝廷を積極的に利用し，対立する勢力を押さえつけられる場所に幕府を置いた。

解答欄

鎌倉幕府		室町幕府	

歴史１　第３章　中世の日本　武家政治の始まりと変化⑪　＜解答＞

【解　答】

鎌倉幕府：イ　　室町幕府：ウ

【解　説】

○　鎌倉・室町の幕府について，朝廷との関係を比較する問題です。

両幕府の置かれた場所の違いは，為政者の強い意図と当時の社会背景によるものです。

・アは江戸幕府についての説明です。

・鎌倉幕府は，それまでの天皇・貴族社会から武家社会への変革を意図するものでした。今までと同じでは旧勢力に取り込まれる恐れがあること，東国は源頼朝の強い勢力下にある地域であることから考えましょう。

・鎌倉幕府に不満をもっていた後醍醐天皇は，足利尊氏とともに鎌倉幕府をほろぼしました。その結果，政治の中心は京都に移りました。

後醍醐天皇が建武の新政を始めましたが，武士の間で不満が高まると足利尊氏は兵を起こし，新しい天皇を立てて，京都に幕府を開きました。後醍醐天皇は奈良県の吉野に移り，京都の北朝と吉野の南朝は対立しました。